

農園便り 2

月号 (108号)

文責 筒口 典康

(2022/02/01)

3月からの「作付計画」春夏編を展開してみます。基本は100号特集の考え方であります。

追肥溝		中央作業路		追肥溝		
水 中 に 棲 息 の 野 菜 列	マリーゴールド混 大豆混植	ナ ス 列	シ ヨ ウ ガ 列	ニラ混植 キュウリ 混植葉物野菜たち セロリ 混植 キュウリ	ト ト イ ウ ウ モ モ シ ロ ロ コ コ ゲ シ シ 列 列 シ	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
水没 雨除けU字支柱 やや乾燥気味 やや小肥 好日	多湿気味 多肥気味 好日～半日陰	やや多湿気味 N肥やや多 好日	やや乾燥 肥料は適肥 好日 ○は蔓物の鉢			

東

↓ 中央作業路



20/04/08 「**畳**」を使って培地を区切る。 コンテナーの中に姫蓮根やクワイ、セリ、クレソン等を植える。58区

農園の区画内の土留めに畳の縦割り 1/6 で切った物を使います。前回(2年前)は、1/4 で切ったもので囲みました。一年半ぐらいで畳は腐ってしまいます。幅広畝の区画を杭でしっかり止める。最近の畳はビニール製の材料が大量に使われているので、糸等の繊維が畑地に残ってしまいます。今のところ畳は、無料でいただいています。切断の手間と運搬費 1500 円を払います。

庭のブロック垣のところに貯めておいた落ち葉、自家製のボカシ堆肥、「糠」みのり堆肥(農協)、ダルマ堆肥(タキイ種苗)、醗酵豚糞(株式会社エンザ)、牡蠣殻石灰(農協・オザキフラワー)、蟹殻(芝勝)、手持ちの有機物を撒きます=置きます。そして、三角鍬で5cm程度、かき回します。混ぜます。「菌」の種を入れたら3週間ほど待つ。土毎醗酵を待ちます。有機物は、土の表面5~6cm迄。

中央の作業路の醗酵した土を通路の両脇の畝に置きます。その列に「糠」を振ります。これで、養分の濃い列と薄い列が出来ます。

濃いところと、少ない列の間に幅狭の深い溝を用意します。手持ちの有機物(鶏糞・魚粉・種粕・卵の殻・牡蠣殻……)をドンドン入れていきます。「菌」(麹菌・納豆菌・乳酸菌・酵母菌……)を入れます。野菜達が不足する養分をこの溝に、自ら取りに行かせるのです。後は水やり水管理で、「元気野菜」が育っていく。元気野菜は、病虫害の被害が少なくなる。

コンテナ(水没畝)には、セリ・食用姫蓮根・クワイ・イネ・クレソン・マコモ、など。コンテナの下には、雑草が生えない。防草。土留め。蚊除けにメダカを入れる。散水用の水溜めである。昆虫や鳥たちの水飲み場でもある。ミニビオトープと言えましょう。

大玉トマトは「ミートステーキ」種。(花倶楽部) U字支柱で雨除けをする。ナス、同一種でそれぞれの用土で、1本ずつ3本植える。試作、観察する。ナスの連作ができるか出来ないかを試行する。色々対策をして、連作できている方もいる。

〇〇〇〇〇は、サトイモ・ヤム芋・アピオス・薩摩芋・オカワカメ・ツルムラサキなどの蔓物の鉢植え列。支柱・ネットを張る。

1月号の「有機物の入手」の續ですが、区民農園の空き区画が当たるまで(補欠3番)、お預けと言うことになりました。武蔵関駅北の豊店で、耕地の縁石(土留)に使っていた切りタタミの依頼も一時、ストップ。竹チップ・竹パウダー・竹炭もストップ。大玉トマト「ミートステーキ」の発注もストップ。「オカラ探し」もストップ。でも、「ボカシ堆肥」肥効8/8/8の有機醗酵肥料は手持ちの有機物で、作りましょう。

丁度良い機会なので、物置化した駐車場の片付けをします。いささかゴミ屋敷化しているのであります。

モグラ・ネズミ 狭い庭のあちこちにモグラが土盛りを作る。春が近い。ミミズ溜まりが出来ているのでありましょう。有機物の状態が良いのでありましょう。ミミズの糞には放線菌がいっぱい居る。放線菌はフザリウム菌やペシウム菌より強いようで、悪玉菌を攻撃する。

甲殻類の殻(カニ殻)は、放線菌を増やすそうであります。有機無農薬栽培の畑の強力な味方であります。菜園に意図的に使っています。実際、病害菌の被害が少ないようである。「菌」たちのバランスで、悪玉菌が活躍できない。

モグラ穴が激しい時は水道の水圧で潰す。モグラ道は、天然の耕起になります。穴が開き過ぎると樹木が枯れてしまうので気を付けています。水圧をかけると、大穴が開きますので、そこに「ボカシ堆肥 8/8/8」「カニ殻」「有機栽培用土」(袋入り)などを入れます。施します。⇒置きます。楽々作業。

モグラ穴はネズミの通路になります。見つけ次第、潰す。出口近くに殺鼠剤を置く。ネズミには薄荷、激辛トウガラシ、銅ネットが有効であると聞きます。ブドウの房が、蜜柑が、柿が、ネズミに食べられてしまいます。越冬させている芋も豆も食われる。そこで、猫を飼いたいのですが、妻が猛反対。私どもは、高齢ですので、「先に死んでしまうから」とお許しが出来ない。

田中さんのお宅の猫はみな人懐こくて、抱っこさせてくれるので可愛い、もらいたい。口の周りに黒いポチポチの斑点のある「タマタマ」がマルチ犬に激しく追いかけていた。正義の味方の私が助けてやりました。それをよく覚えていて、好いてくれる。寄りかかってくるのであります。なんと可愛いヤツ・・・！。

イネを蒔く 玄米の発芽 お正月飾りについてはいる稲穂の籾種子を播きます。農協で玄米を買い、蒔いてみます。次男の嫁の実家が米農家なので聞いてみますと、玄米から良く芽が出るとの事で、今年も蒔いてみましょう。

小中学校で「バケツ稲」づくりがはやり、秋にはコンクールも開かれたりしていました。子供たちに米作りの国であることを教えるとても良い教材であると思います。水、光、温度、空気、土、養分、……小学校の低学年・高学年、中学生それぞれがテーマを持って、学べます。素晴らしい教材である。

千葉から送っていただいた玄米にカビが生えてしましまして、止むなく肥料代わりに撒きました。すると、多量に芽が出たのでありおます。『おお、芽が出ますヨ』と鈴木さんが言う。若ければ、稲田を借りて米作りをしたいのですが、すでにムリムリ。

そうそう、今度は、米藁・籾を着払いで送ってもらいましょう。ビニールシートは止めて、マルチ材として使わせてもらいましょう。

小庭で果物を作りたい。マンションのテラスで果物作る・・・。

もしも、少しの空地が住宅の南側にあれば、十分作れます。壁に沿って扇を広げるように枝を広げる。50 cm程度の植え込み幅が確保できれば、OK。バーク堆肥の「みのり堆肥」(農協)、「糠」、「貝殻の破砕物」、「鶏糞」(農協)・「オザキ」・「芝勝」・「コメリ」で入手する。混ぜる。水を撒く。土毎醗酵。3週間ほど待つ。有機物を地中深くには入れない。土毎醗酵で自然耕。ミミズ耕。

推薦する果物としては、温州ミカン、ネーブル系の「スプリングアーレイ」⇒常緑樹。冬の日当たりを大事にしたい場合には、木苺類・実桑・イチジク等⇒落葉樹。キウイフルーツは暴れまわるので小庭では無理。色々な果樹を「オザキフラワー」で探せます。「芝勝」さんや「オザキ」で注文すると、手に入る。

70~80 cmぐらいの大苗が良い。小苗であると日光を受けられないで、枯れてしまう。5000円ぐらいの投資はしないとネ。楽しみは作らないと……。

深植えをしないようにする。接ぎ木苗を植えると、実のなり始めが早い。誘導支柱をしっかりと立てる。扇状に枝を伸ばす。手首周り程度に育つてくると、50～100個ぐらいの収穫が期待できます。5～6年ぐらいかかるでしょう。とにかく、蒔かぬ種は実らない。植えない果樹は実を付けない。先ずは始めましょう。10個20個と生り始めると、大変嬉しいものであります。

果樹のテラス栽培 「鉢」で作る場合には少々手がかかります。失敗しないようにするには、大鉢の植え込み苗をドカーンと買います。1～2万ぐらいします。小苗・中苗で始める場合には、鉢は少しづつ大きくしていきます。小苗を大きい鉢に植えると失敗します。少しづつ鉢を大きくしていきます。青梅街道にあるバス停「水道端」近くの「芝勝」で入手(注文)できます。

給水装置付きの植木鉢を作る。

やってみて良かったのは、スーパーの店内で使っている四角い籠があります。オリンピック店などで買ひまして、蓋付きのコンテナを探します。籠を内側に入れます。籠の内側にネット状の物を貼りまして用土を入れます。蓋は水受けに使います。コンテナの底から1/3位の位置で小穴をあけます。穴のろまで水が溜まります。籠の底から給水布を垂らします。(給水装置付の鉢)

ペットボトルに水を入れて逆さまに挿す方法もある。



22/01/18 給水装置付きの鉢(ジャボチカバ) ミラクルフルーツ パパイヤ ミラクル ジャボチカバの鉢

「土」は、有機栽培用の土、袋入りで売られている物が良いでしょう。弱酸性の用土が良い。草木灰は使いません。

テラスは乾燥しやすいので簡易給水装置が必要です。多くの果樹は弱酸性を好みます。鉢の上に乾燥防止の刈草を置きます。千川緑道に生えてくるスキを切って置いています。微量養分の補給にもなります。

水の過剰な場合、根が腐り、枯れてしまいます。カタバミを一株植えておくと水不足が解る。乾燥すると、葉がたたまれますから、それで分かります。次にカタバミの葉がたたまるまでは、散水＝給水しない。「水」をやる時には十分与える。水切れで枯らさない。

爪楊枝を用土に挿しこんでみると、濡れていれば、過湿。乾いていれば水不足が分かります。これから、少しづつ、果物についての報告をしていきたいと思ひます。

T